

# 2011年3月期第2四半期決算説明会



**NIPPON SEIKI**

2010年11月16日

— 本日も説明する内容 —

1. 2011年3月期第2四半期業績
2. 2011年3月期 予想
3. 今後の事業展開
  - (1) 計器事業
    - a. 市場シェア
    - b. 中長期成長戦略
    - c. 戦略展開事例
  - (2) 民生機器事業
  - (3) ディスプレイ事業

## 企業集団の概要

## 2011年3月期 第2四半期 連結子会社

	10年3月期	11年3月期 第2四半期
日本	8社	8社
米州	5社	5社
欧州	2社	2社
アジア	10社	10社
計	25社	25社

## 2011年3月期第2四半期 連結決算

単位：百万円

	10年3月期 第2四半期累計	11年3月期 第2四半期累計	増減率
売上高	58,102	81,606	+ 40.5%
営業利益	813	6,790	+734.2%
経常利益	△ 883	2,335	—
当期利益	△ 2,934	103	—
一株利益	△ 51.44円	1.81円	—
為替 (USドル)	95.53円	88.91円	6.62円高

## 2011年3月期第2四半期 連結決算

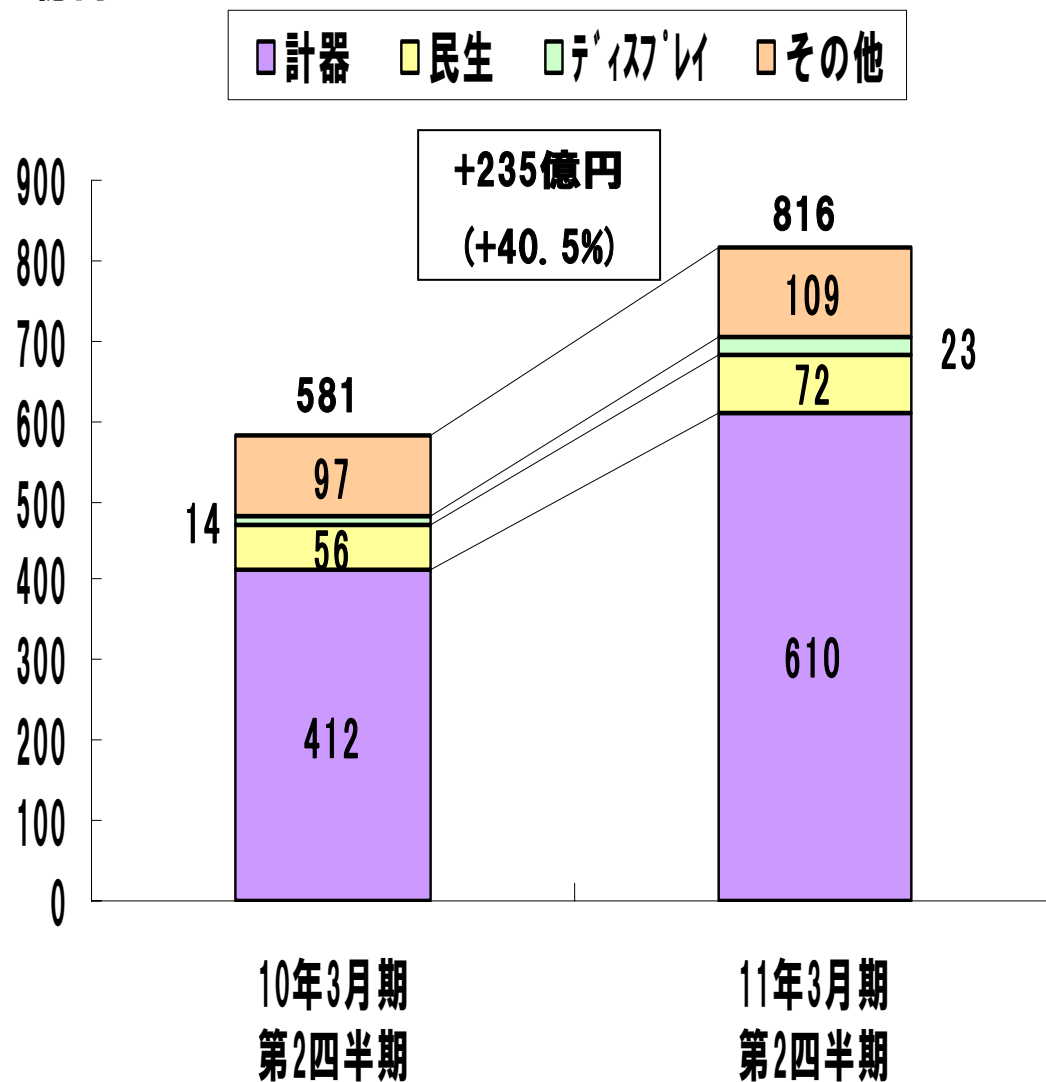
## 公表値との差異

単位：百万円

	公表値 (8月5日付)	11年3月期 第2四半期累計	増減率
売上高	81,000	81,606	+ 0.7%
営業利益	5,700	6,790	+ 19.1%
経常利益	4,100	2,335	△ 43.0%
当期利益	2,000	103	△ 94.9%
一株利益	34.90円	1.81円	—

# 事業別売上高

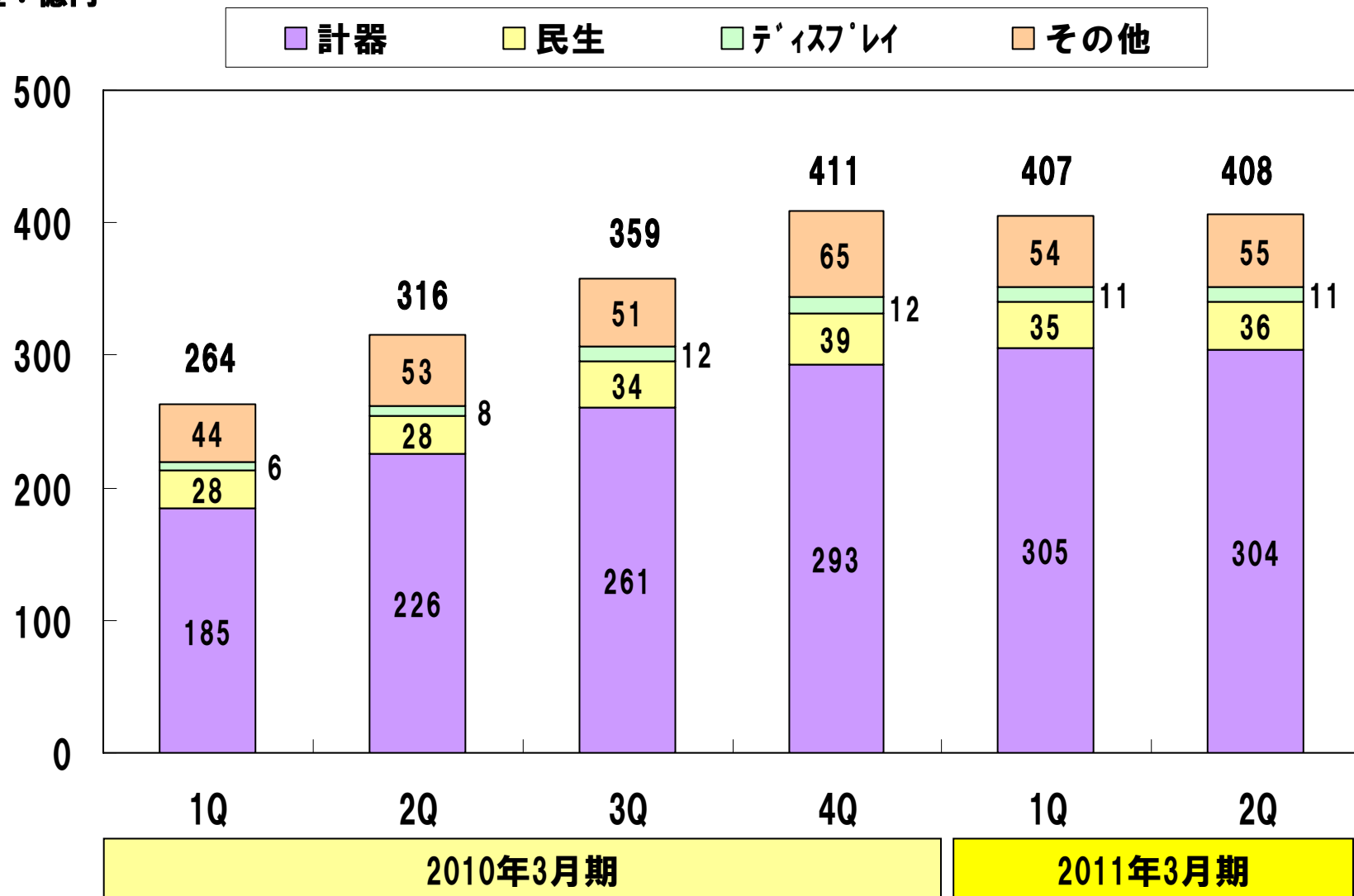
単位：億円



- ・ **計器** + **198億円**  
 四輪 日本・米州・欧州・アジアともに増加。  
 二輪 日本・米州・欧州・アジアともに増加。  
 汎用 建設機械向等が増加。
- ・ **民生** + **16億円**  
 O A 機器向等が増加。
- ・ **ディスプレイ** + **9億円**  
 液晶ディスプレイが増加。
- ・ **その他** + **12億円**  
 自動車販売及び樹脂材料の加工・販売等が増加。

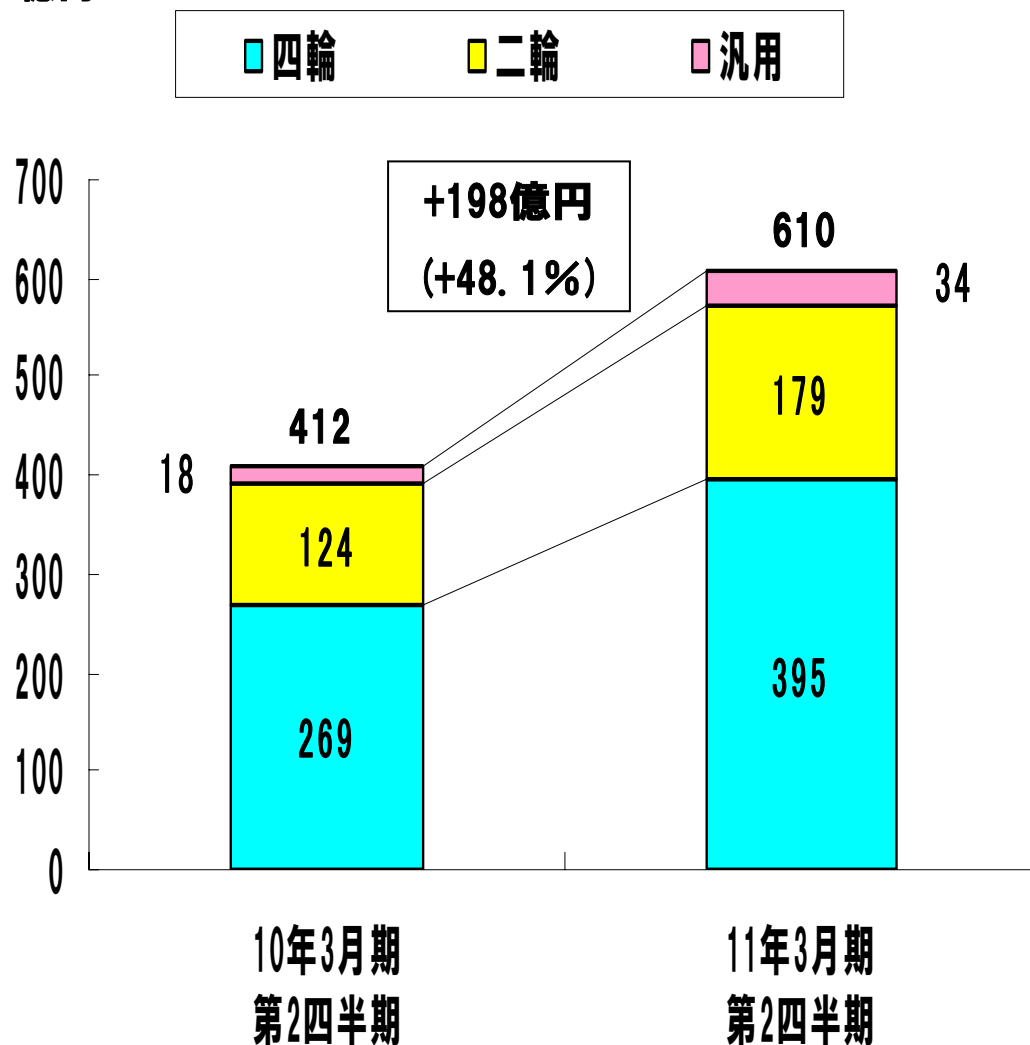
# 事業別売上高（四半期別推移）

単位：億円



# 事業別売上高 (計器①)

単位：億円



・ 四輪 + 126億円

本田グループ、三菱自工グループ、BMW、クライスラー向等が増加。

・ 二輪 + 55億円

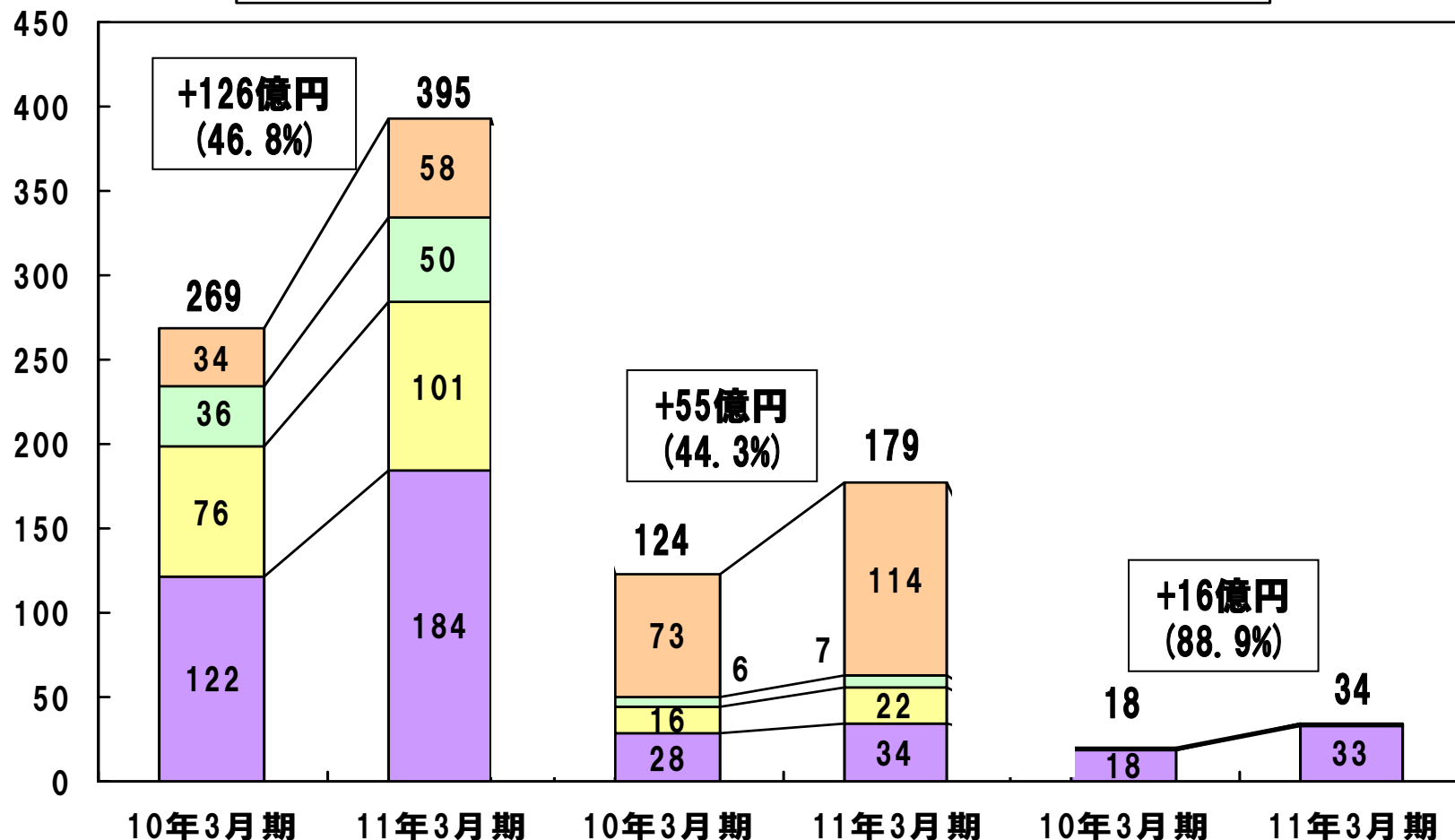
本田グループ、ヤマハグループ、スズキグループ向等が増加。

・ 汎用 + 16億円

キャタピラーグループ、日立建機向等が増加。

# 事業別売上高 (計器②)

単位：億円



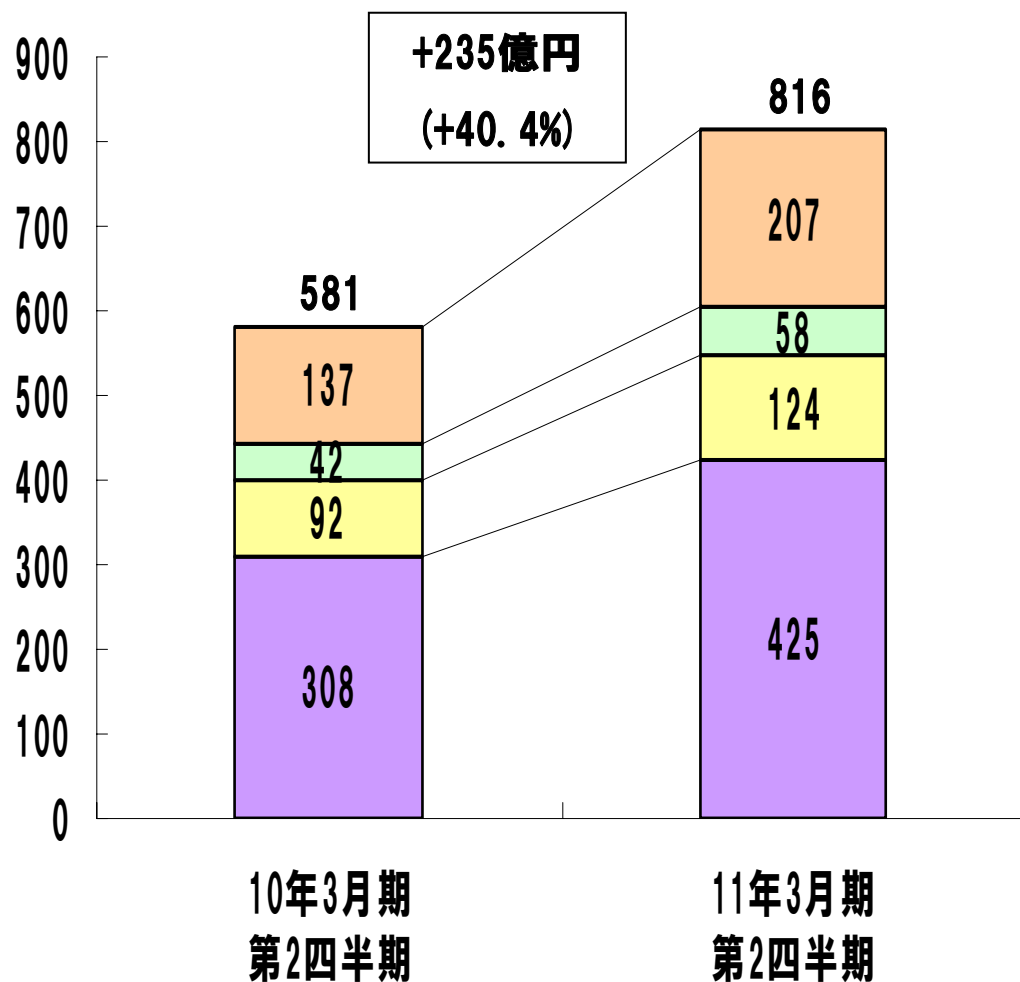
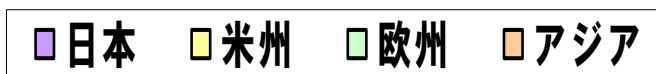
四輪計器

二輪計器

汎用計器

# 所在地別売上高

単位：億円



- ・ 日本 + 117億円

四輪・二輪・汎用計器、民生機器、液晶ディスプレイ等が増加。
- ・ 米州 + 32億円

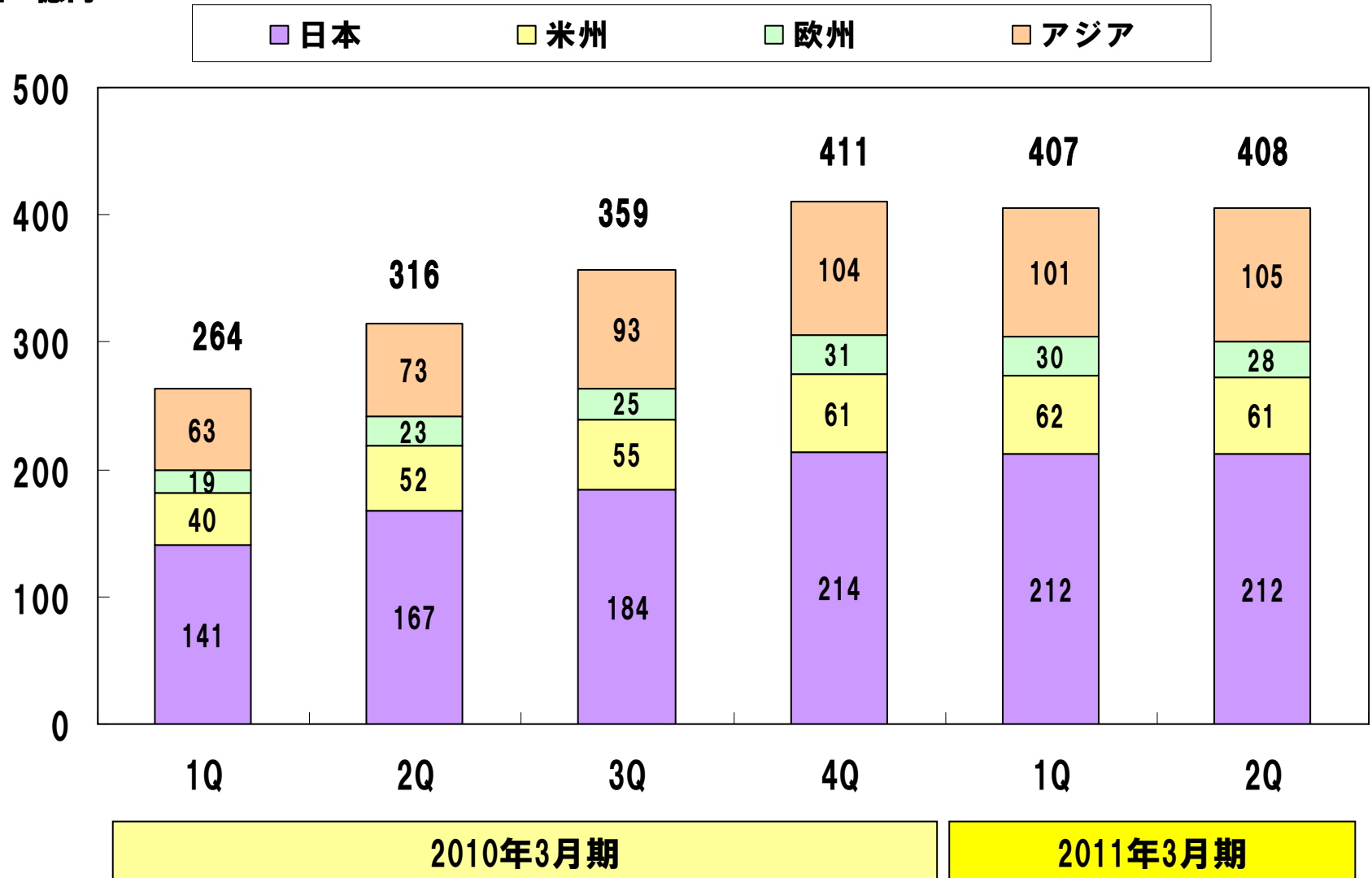
米国・ブラジルともに、四輪・二輪計器が増加。
- ・ 欧州 + 16億円

四輪・二輪計器が増加。
- ・ アジア + 70億円

四輪・二輪計器、民生機器が増加。

# 所在地別売上高 (四半期別推移)

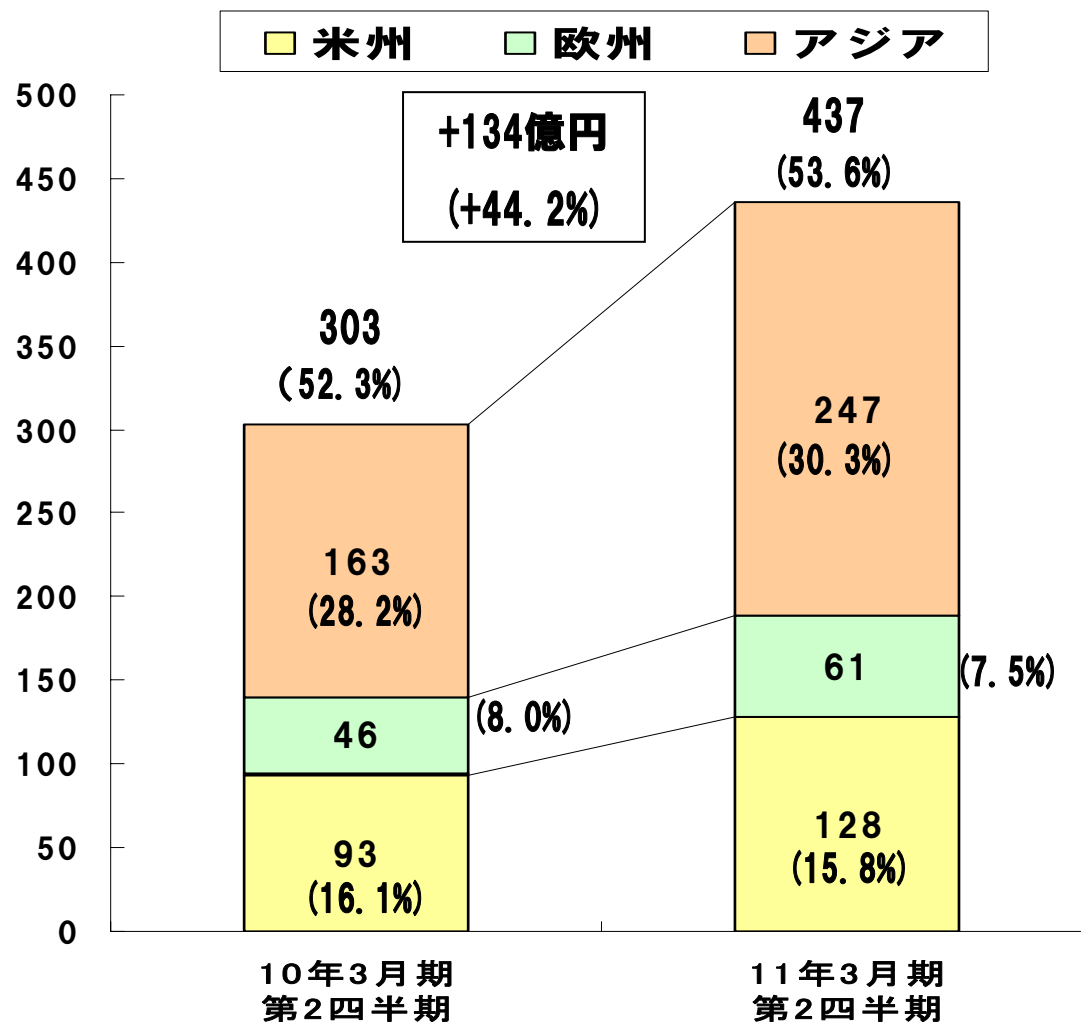
単位：億円



# 海外売上高

単位：億円

( カッコ内は連結売上高に占める海外売上高の割合 )



・米州 +35億円

米国・ブラジルともに、  
四輪・二輪計器が増加。

・欧州 +15億円

四輪・二輪計器が増加。

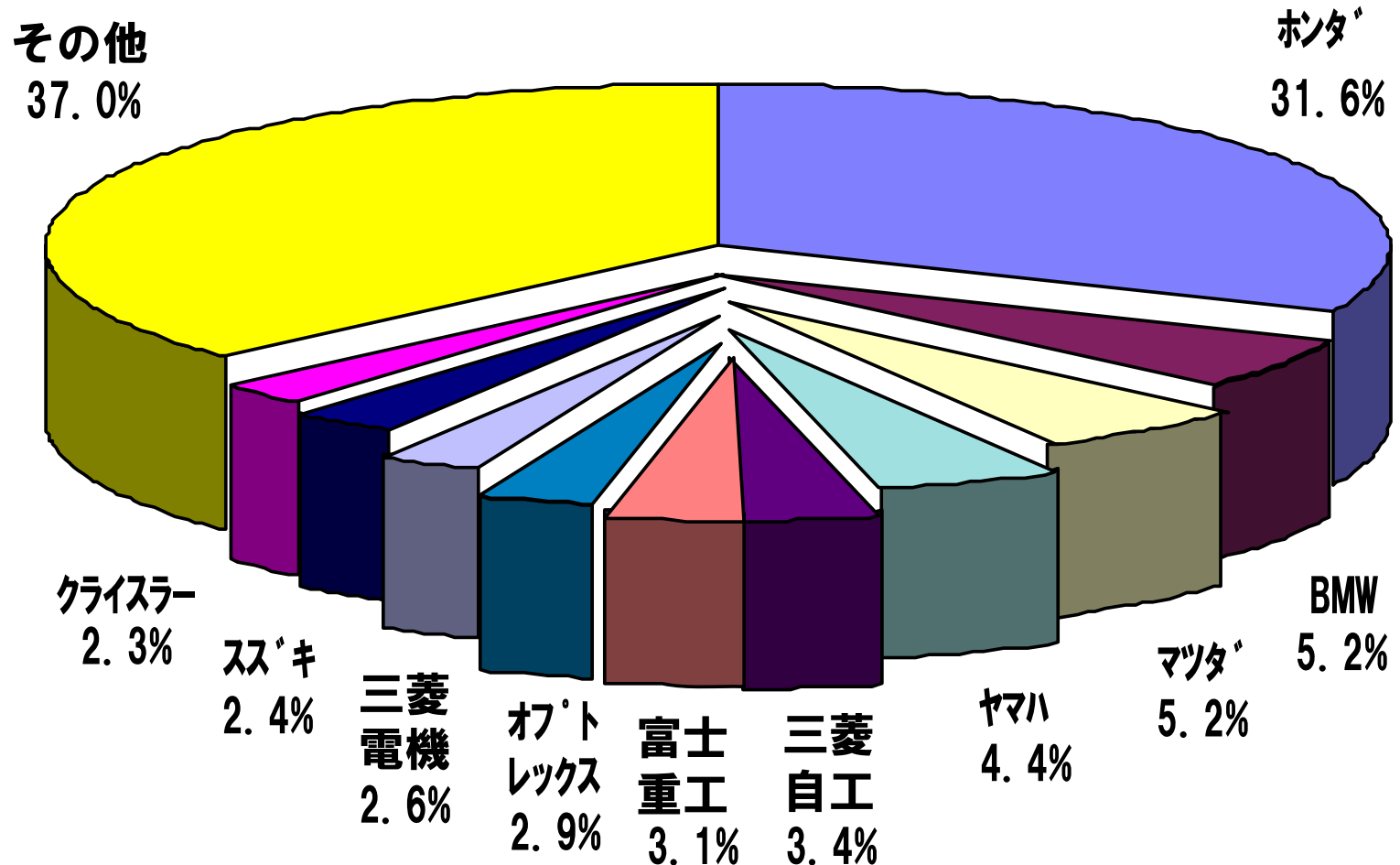
・アジア +84億円

四輪・二輪計器、  
民生機器が増加。

# 得意先別売上構成上位10社

2011年3月期 第2四半期累計

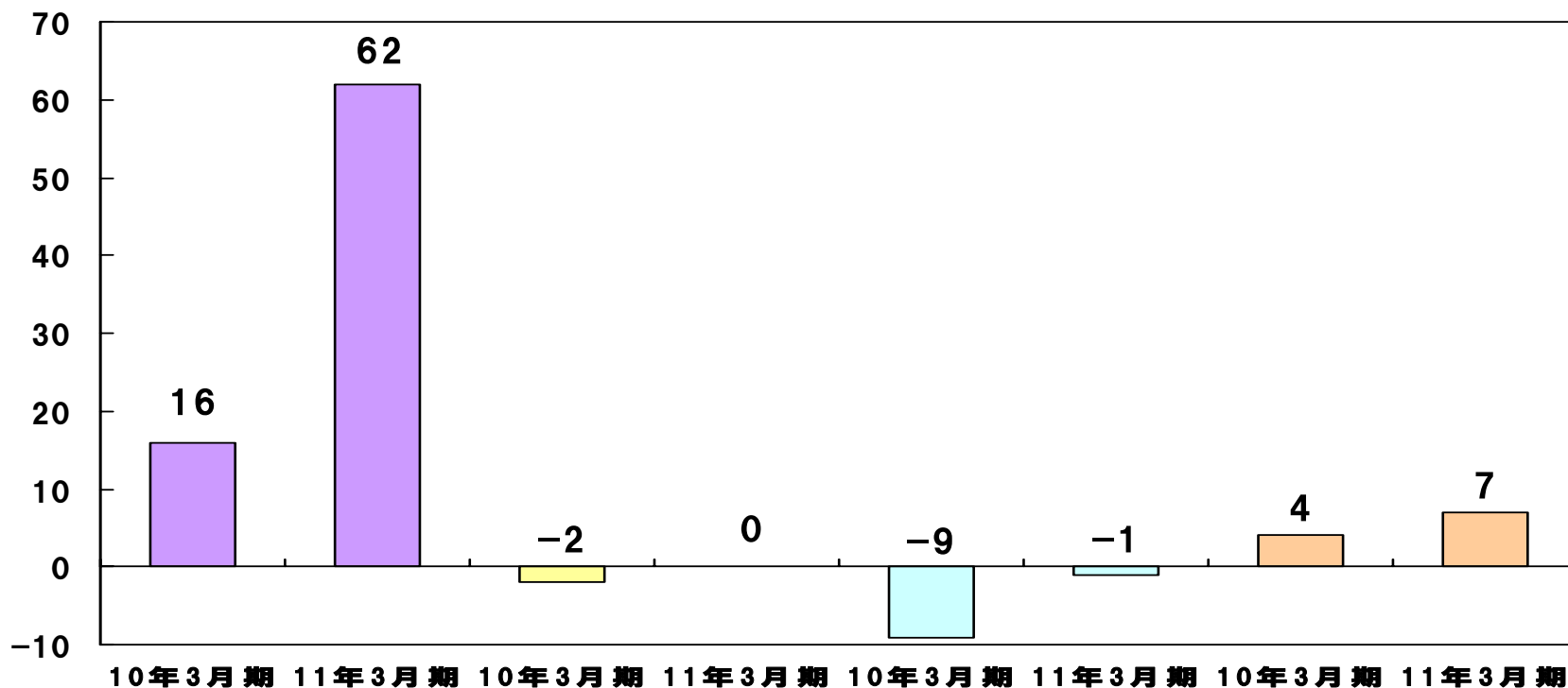
・三菱自工（株）が10位から5位に。



# 営業利益 事業別

	10年3月期 第2四半期累計	11年3月期 第2四半期累計	増 減
営業利益	8 億円	67 億円	+ 734.2%

単位：億円



計器

民生機器

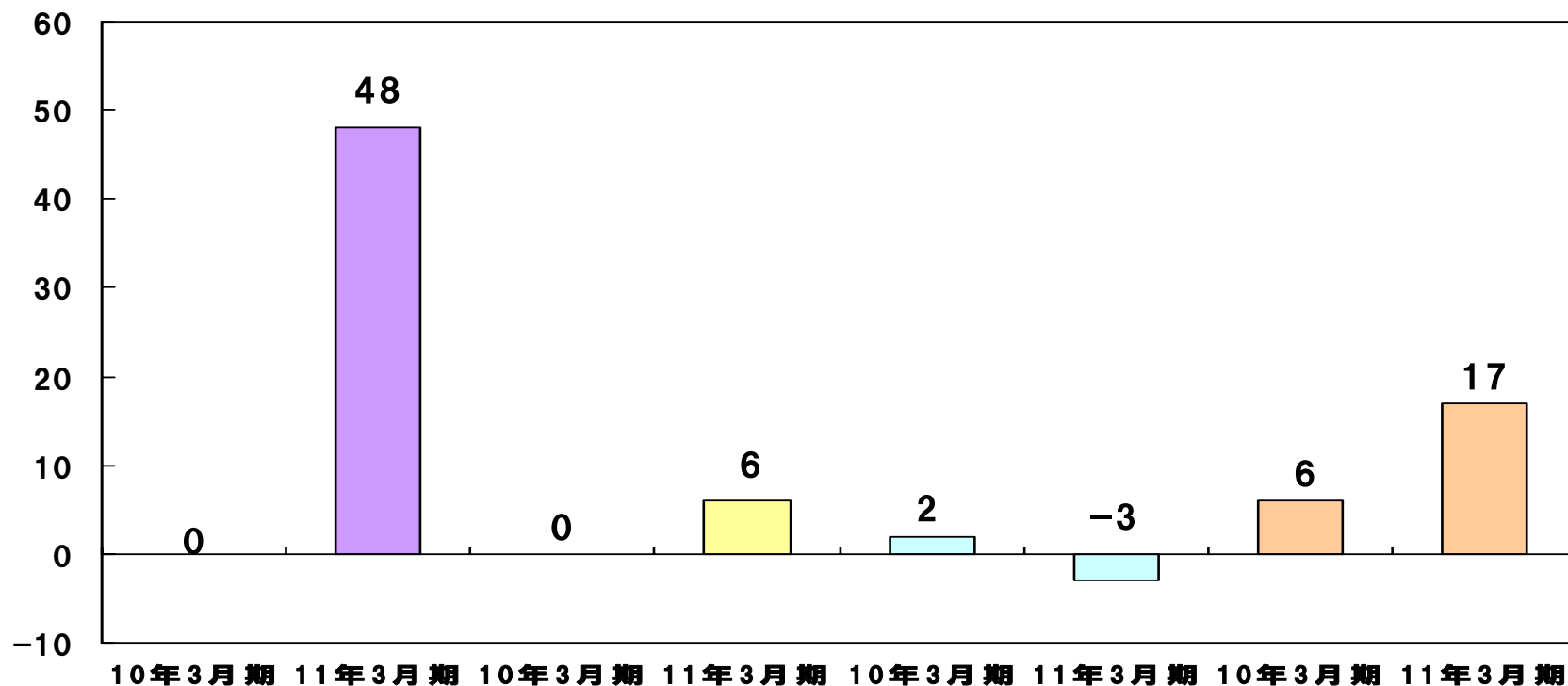
ディスプレイ

その他

# 営業利益 所在地別

	10年3月期 第2四半期累計	11年3月期 第2四半期累計	増 減
営業利益	8 億円	67 億円	+ 734.2%

単位：億円



日本

米州

欧州

アジア

## 為替レート 実績

(期中平均)

単位：円

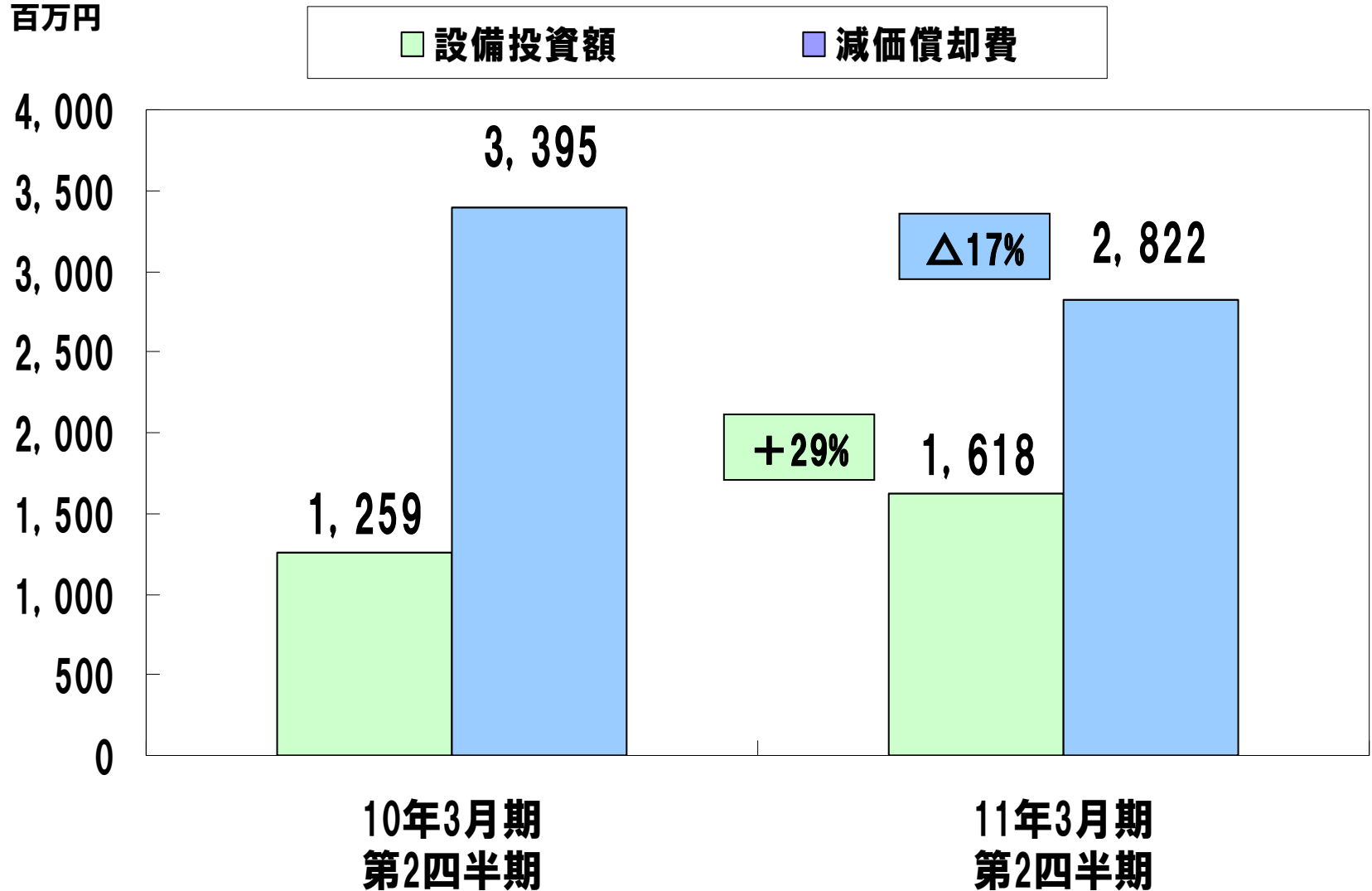
	10年3月期 第2四半期	11年3月期 第2四半期	レート差	%
USドル	95.53	88.91	6.62 円高	△ 6.9%
ポンド	152.45	135.03	17.42 円高	△11.4%
バーツ	2.73	2.77	0.04 円安	+ 1.4%

為替感応度

USドルに対する 1円 の変動につき、営業利益で 1.6億円/年

# 設備投資額と減価償却費

単位：百万円

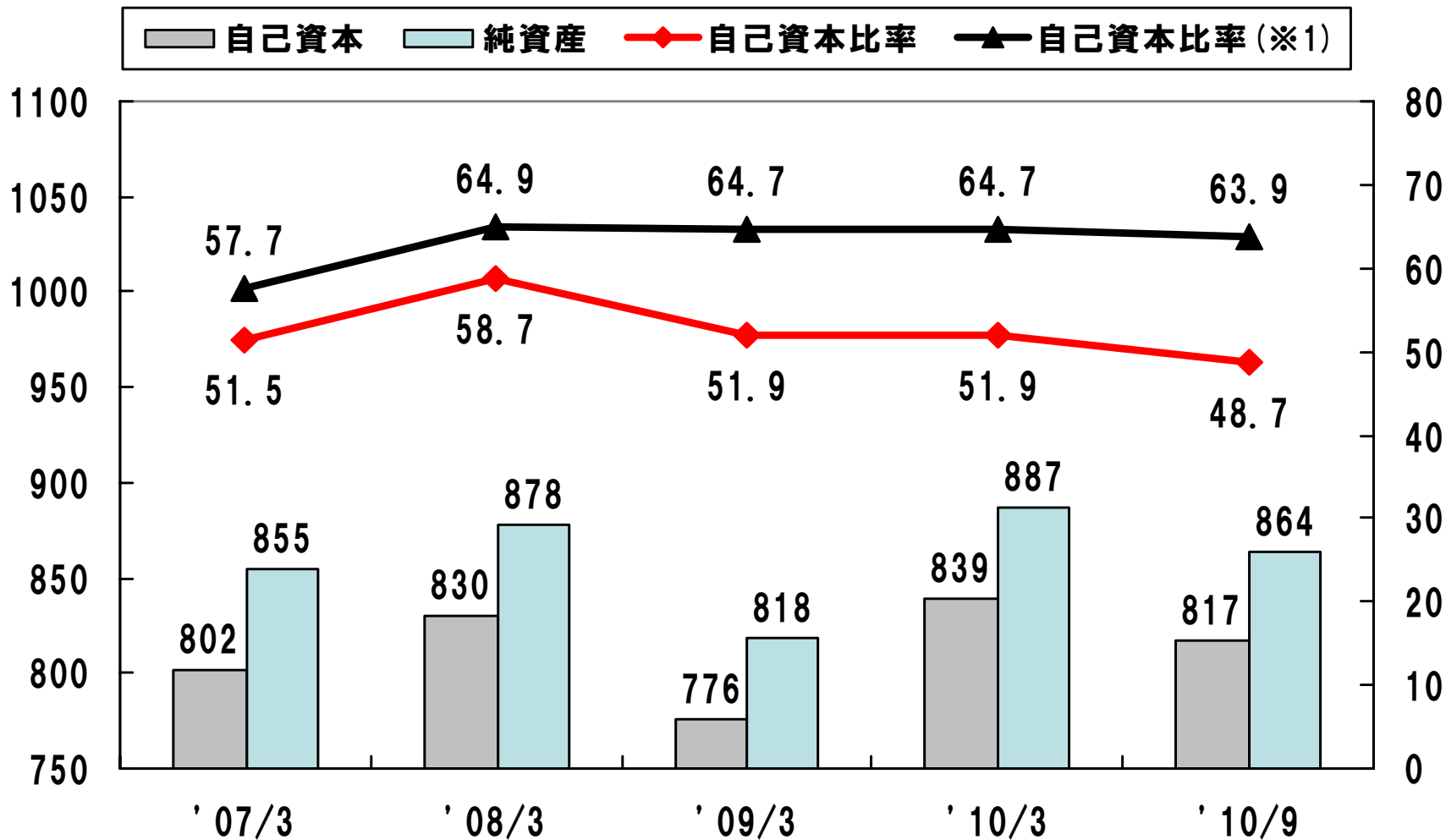


# 自己資本比率

(自己資本比率(※1)は、外貨預金に相当する円貨借入れを除いた場合の比率)

単位：億円

単位：%



— 本日も説明する内容 —

1. 2011年3月期第2四半期業績

2. 2011年3月期 予想

3. 今後の事業展開

(1) 計器事業

a. 市場シェア

b. 中長期成長戦略

c. 戦略展開事例

(2) 民生機器事業

(3) ディスプレイ事業

## 2011年3月期予想

単位：百万円

	10年3月期 (実績)	11年3月期 (予想)	増減率
売上高	135,225	155,000	+ 14.6%
営業利益	6,308	10,000	+ 58.5%
経常利益	7,185	6,000	△ 16.5%
当期利益	2,963	2,600	△ 12.3%
一株利益	51.84円	45.38円	—
為替 (USDドル)	92.89円	83.00円	9.89円高

— 本日も説明する内容 —

1. 2011年3月期第2四半期業績
2. 2011年3月期 予想

3. 今後の事業展開

(1) 計器事業

a. 市場シェア

b. 中長期成長戦略

c. 戦略展開事例

(2) 民生機器事業

(3) ディスプレイ事業

# 四輪計器世界シェア 目標15% (G15)

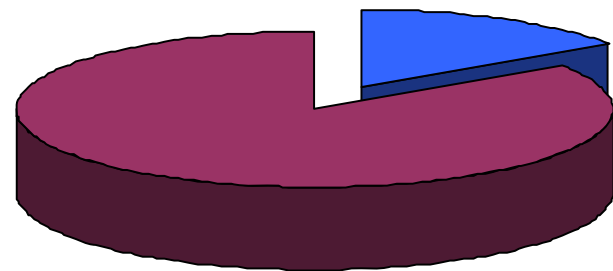
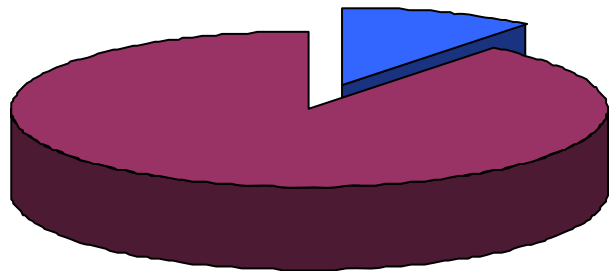
主な顧客	'09/3	'10/3
ホンダグループ	85%	84%
マツダグループ	95%	96%
BMWグループ	17%	21%
クライスラーグループ	21%	30%
トヨタグループ	9%	9%
(ダイハツ・富士重含む)		
グローバルシェア	11%	12%

2010年3月期 実績

NS 12%

2015年3月期 目標

NS 15%



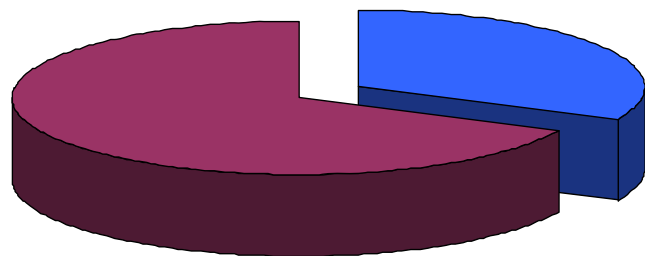
■ 欧米顧客 および 中国ローカル系顧客への拡販 を重点的に推進していく。

## 二輪計器世界シェア 目標40% (G40)

主な所在地	'09/3	'10/3
インドネシア	79%	78%
インド	34%	36%
中国	10%	8%
ベトナム	30%	53%
ブラジル	75%	83%
グローバルシェア	31%	31%

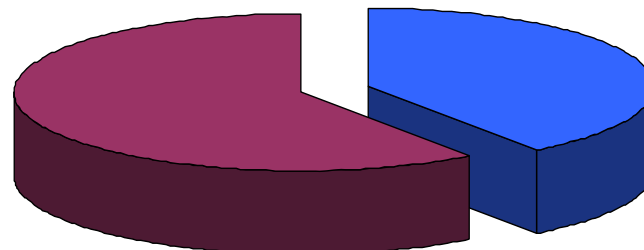
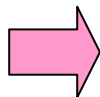
2010年3月期 実績

NS 31%



2015年3月期 目標

NS 40%



■ 市場が急拡大する中国、インドでのシェア拡大を重点的に推進していく。

— 本日も説明する内容 —

1. 2011年3月期第2四半期業績
2. 2011年3月期 予想
3. 今後の事業展開
  - (1) 計器事業
    - a. 市場シェア
    - b. 中長期成長戦略**
    - c. 戦略展開事例
  - (2) 民生機器事業
  - (3) ディスプレイ事業

# NEMS = 日本精機 (NS) 型EMS

『もの造り企業集団』として事業の成長拡大



民生機器製品



計器製品



DSP製品

基板実装を核とした技術の進化とそのシナジー効果

## 設計技術

回路

外装

光学

表示

システム

ソフト

金型

設備

## 製造技術

薄膜成形

組立

実装  
接続

印刷

樹脂着色

成形

金型

表示

光学

# 中長期成長戦略

## 技術

- 商材の高付加価値化
- ヒューマン・マシン・インターフェースの進化
- ローコスト製品の開発

## 仕組み作り

- 中国・インドでのシェアアップ

## 統準化

- 現地設計機能の拡充
- 多品種少量生産体制の追求
- 設計等の間接業務の統準化
- 統準化による製造コスト低減

# 中長期成長戦略

## 技術

- 商材の高付加価値化
- ヒューマン・マシン・インターフェースの進化
- ローコスト製品の開発

## 仕組み作り

- 中国・インドでのシェアアップ

## 統準化

- 現地設計機能の拡充
- 設計等の間接業務の統準化
- 多品種少量生産体制の追求
- 統準化による製造コスト低減

# 統準化：コスト改革

統準化とは、  
「いくつもある種類を  
標準的なものに統合すること」

## ハード

製品、部品、金型、設備等の  
共用化と標準化

## ソフト

ITを活用し、  
設計等の間接業務の  
プロセスの効率化・標準化

企業体質／競争力の強化

— 本日も説明する内容 —

1. 2011年3月期第2四半期業績
2. 2011年3月期 予想
3. 今後の事業展開
  - (1) 計器事業
    - a. 市場シェア
    - b. 中長期成長戦略
    - c. 戦略展開事例**
  - (2) 民生機器事業
  - (3) ディスプレイ事業

# ヘッドアップディスプレイ (HUD)

## － 当社の量産モデル －

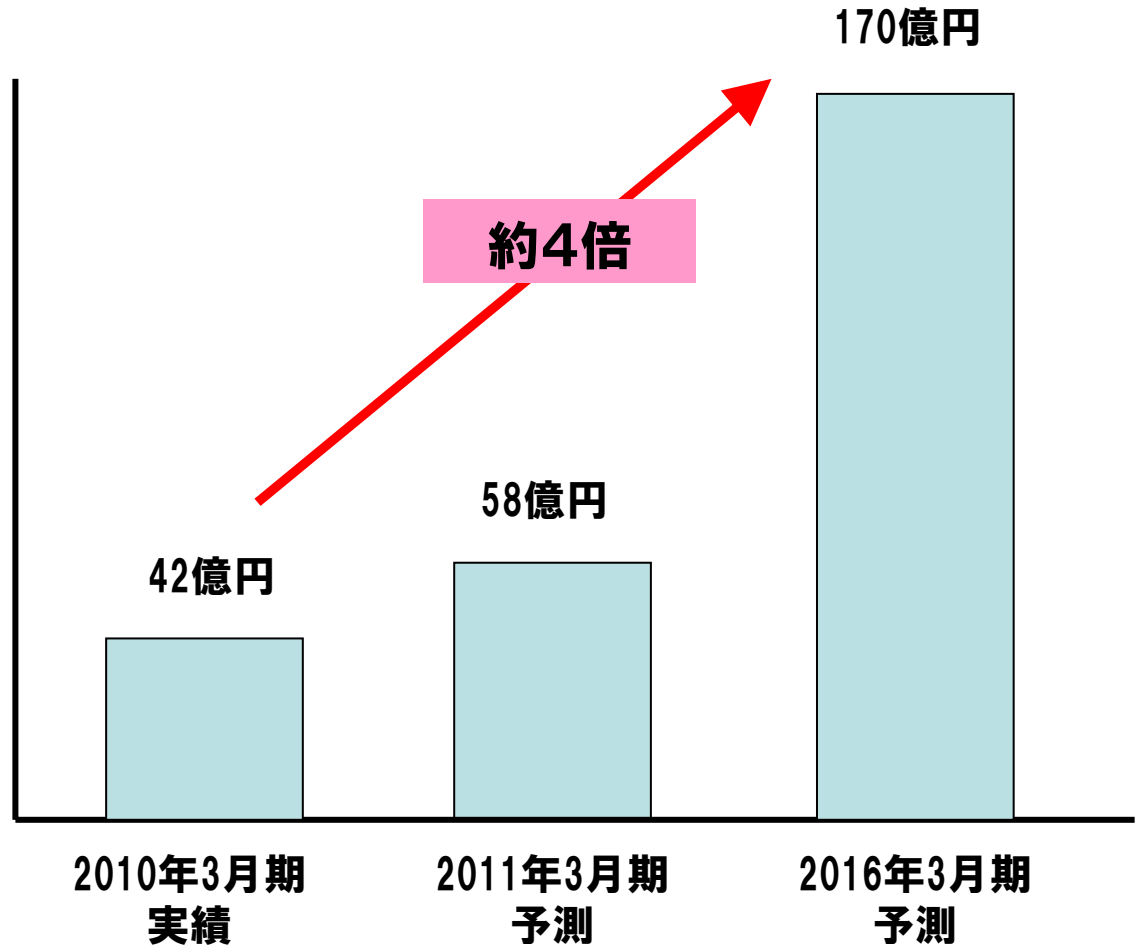
写真割愛

メーカー名	車名
BMW	7 Series 6 Series 5 Series X6 X5 X3 Grand turismo
GM	05my Corvette Acadia
PSA	C5
HONDA	LEGEND

# ヘッドアップディスプレイ (HUD)

## — HUD 売上高予測 —

写真割愛



# LED-HUDの開発

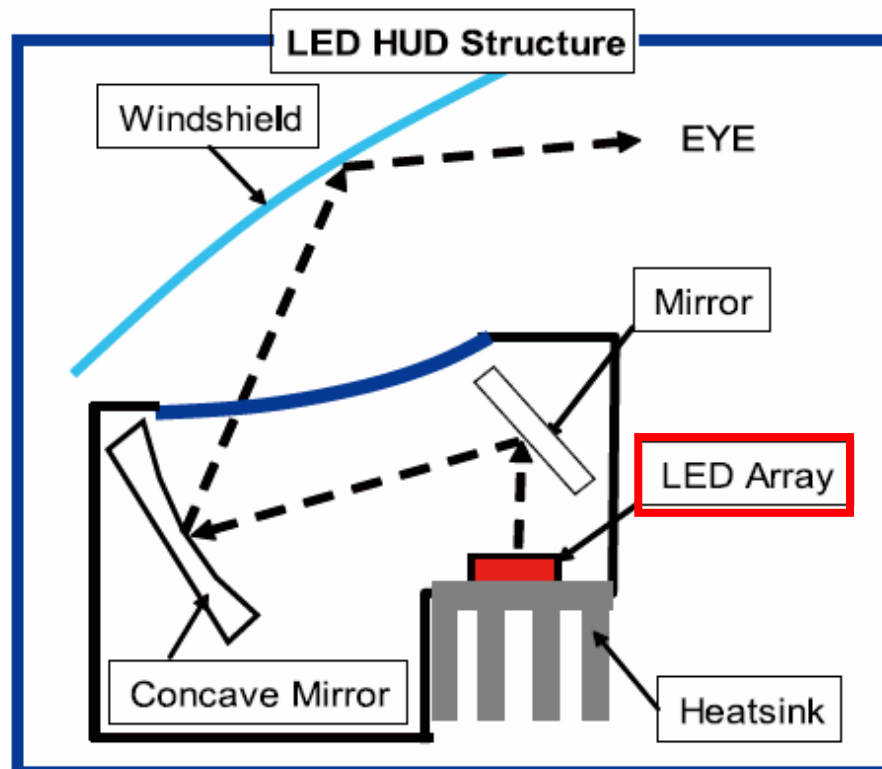
－ ヘッドアップディスプレイの商品魅力向上 －

LEDを使用することで、光源と表示体を一体化

(現行品は、高輝度バックライト+表示ディスプレイ)

→ HUDの小型化 → HUDの中小型車種への搭載を促進

現行量産品と比べ、体積 30%削減



## 拡販強化：中国武漢に代表処開設

### － 中国ローカル系四輪車メーカーへの拡販強化 －

名 称	日本精機株式会社 武漢代表処
住 所	湖北省武漢市
開所時期	2010年 6月

#### <目的>

#### 中国での四輪車用計器事業の拡大

- ・ ローカル系メーカーへの拡販活動強化
- ・ 中国での設計開発体制強化に向けた調査・準備
- ・ 四輪車用計器製造の第2拠点建設に向けた調査・検討

#### <具体的活動>

- ・ ローカル系メーカーへの新機種受注活動開始

# 拡販強化：日産向け四輪計器の納入開始

— 新型マーチ用計器をアジア 3 拠点で生産 —

新型マーチ（マイクラ）



タイ

2010年 3月～

タイ・ニッポンセイキ社

日産自動車  
タイ現地法人

インド

2010年 5月～

JNSインスツルメンツ社

日産自動車  
インド現地法人

中国

2010年 8月～

上海日精儀器有限公司

日産自動車  
中国合併会社

## コスト改革：メキシコで新工場建設中

－ 潜在需要の大きい北米でのコスト競争力強化 －

ニッポンセイキ・デ・メヒコ社



2010年3月からニッセイ・アドバンテック・メヒコ社と工場を共有し、基板ASSYの量産開始。

生産計画上方修正 ⇒ 工場面積拡張

敷地面積 : 40,283 m<sup>2</sup>

延床面積 : 17,704 m<sup>2</sup>

(約1.5倍へ計画変更)

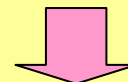
2010年 4月 着工

2011年 2月 竣工

2011年 7月 量産開始

四輪計器用基板ASSYの生産からスタート

米国製造拠点に部品供給



米州での相互補完体制構築

# コスト改革：メキシコ部品工場の生産能力拡大

— 潜在需要の大きい北米でのコスト競争力強化 —

ニッセイ・アドバンテック・メヒコ社

2009年8月から計器用文字板の量産開始

## 設備投資により能力拡大



	現行	⇒	2012年
印刷機	3台		6台
	(3台追加)		

成型機	3台	⇒	15台
	(12台追加)		

(日本、米国からメキシコへ  
生産移管)

- 部品加工能力UP
- 集中生産

ローコスト部品を  
米国工場へ供給

## コスト改革：中国深センに代表処開設

### － 中国サプライヤーからの購買拡大 －

名 称	香港 NIPPON SEIKI CO., LTD 深セン代表処
住 所	広東省 深セン市
開所時期	2010年6月

◎ 香港に次ぎ、2拠点目となる海外購買拠点

#### <目的>

中国域内での部品購入拡大による当社グループのコスト競争力強化

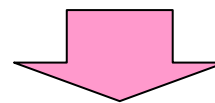
#### <具体的活動>

- ・ 部品商談会等を開催し、競争力のある中国部品サプライヤーの選定と現物評価を開始。
- ・ 民生の現行サプライヤーへVA活動開始。

## コスト改革：中国での二輪計器事業の強化

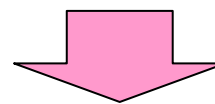
### <中国市場>

- ・ 世界最大の二輪車市場
- ・ ローカル二輪メーカーの高いシェア



### <方針>

コスト競争力向上によるローカル二輪メーカーへの拡販



### <今後の施策>

- ・ 営業・設計・生産の現地化
- ・ 『統準化』計器の拡販
- ・ 台湾も含め現行5拠点(\*)の役割・機能の見直しによる集中生産、相互補完の強化

\*除く代表処及び民生拠点

— 本日も説明する内容 —

1. 2011年3月期第2四半期業績
2. 2011年3月期 予想
3. 今後の事業展開
  - (1) 計器事業
    - a. 市場シェア
    - b. 中長期成長戦略
    - c. 戦略展開事例
  - (2) 民生機器事業
  - (3) ディスプレイ事業

# 製品カテゴリ

## 住宅設備機器



## OA機器



## 産業用機器

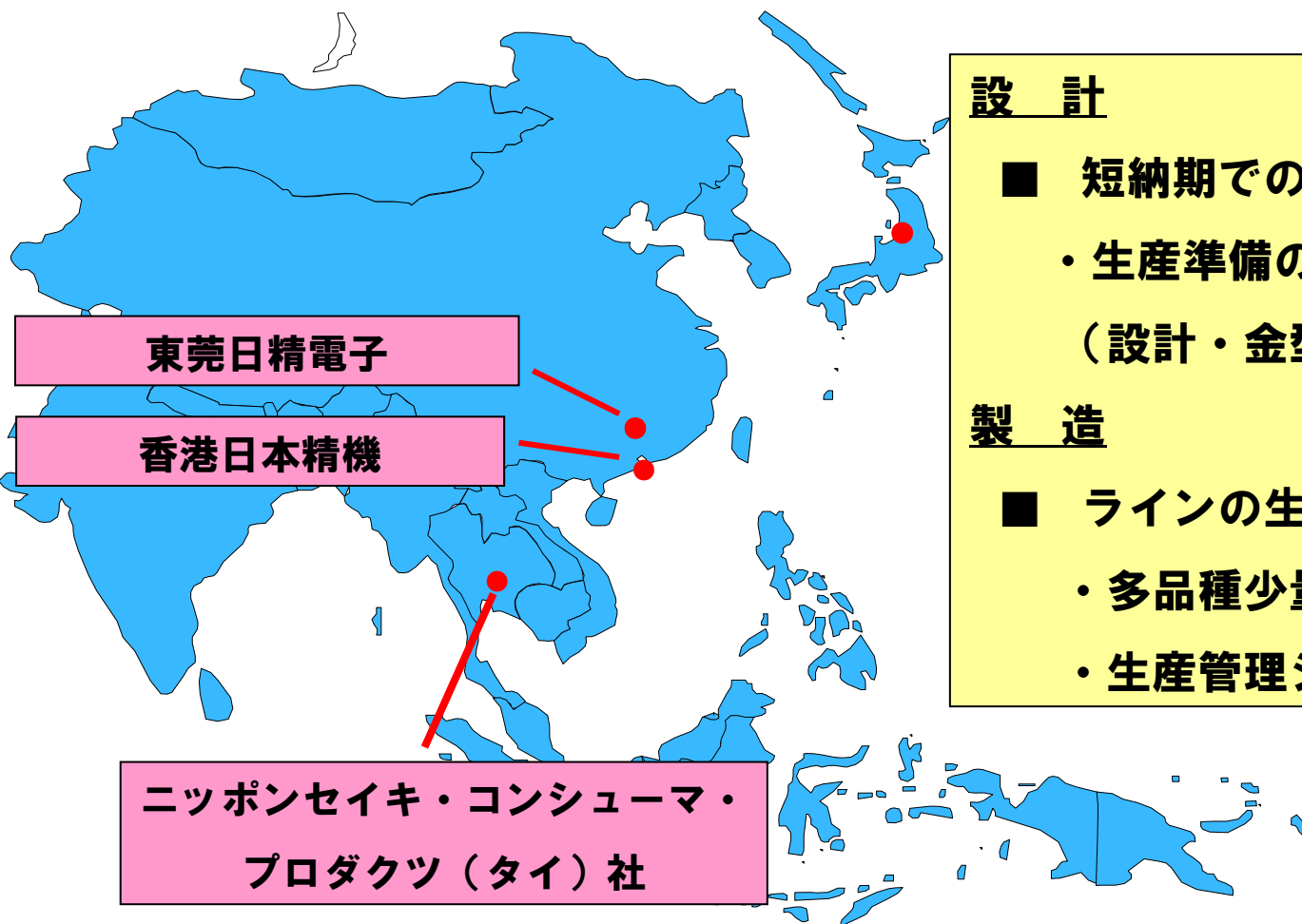


## ポータブル機器



## もの造り改革の推進

— 日本・中国・タイ連携によるコスト競争力強化 —



### 設計

- 短納期での生産立上げ
- ・ 生産準備のデジタル化推進  
(設計・金型・工程・品質)

### 製造

- ラインの生産性向上
- ・ 多品種少量生産の仕組み強化
- ・ 生産管理システム改革

— 本日も説明する内容 —

1. 2011年3月期第2四半期業績
2. 2011年3月期 予想
3. 今後の事業展開
  - (1) 計器事業
    - a. 市場シェア
    - b. 中長期成長戦略
    - c. 戦略展開事例
  - (2) 民生機器事業
  - (3) ディスプレイ事業

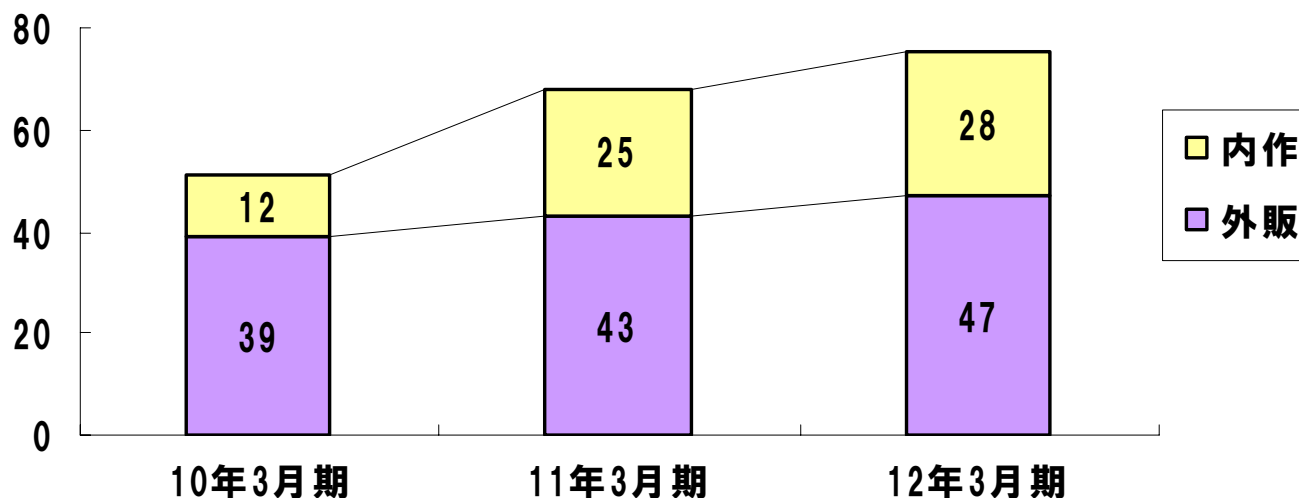
# 収益改善

## 【 事業規模 】

51億円

68億円

75億円



## 【 施策 】

- ・ 低消費電力有機EL、モノカラーアクティブ有機EL、広視野範囲マルチメインVA液晶等の開発強化と拡販
- ・ 生産改革活動、海外廉価部材の採用拡大等による原価低減

## 新技術・新商品戦略

### - モノカラーアクティブ有機ELディスプレイ (OLED) -

#### アクティブ型を開発

##### <従来からの特長>

高視認性・・・高コントラスト、広視野角、高速応答

##### <アクティブ型による性能向上>

高輝度・大画面・高精細・高階調が可能に

※ 車載用の高い品質要件を確保

##### <想定する用途>

・医療用モニター      ・車載表示 等



7.4インチ 試作品 (株)オクタテクノロジーとの共同開発



(例) 在宅医療用エコー

## 新技術・新商品戦略

- M-NVA液晶 (Multi-domain NVA : マルチドメイン垂直配向) -

- **コントラスト 20倍** (100 : 1 → 2000 : 1) を **NVA** で実現
- **視野角を2倍** (80 度→160 度) に広げた **M-NVA** を製品化

